

ってしまうだろうと予測しています。

次に、越前市の人口構成についてお話をします。2005年の15歳から64歳までの生産年齢人口は、全体の63%の構成で、55,899人ありました。その後は年々減少し、2040年には、生産年齢人口は全体の52%の構成で、34,663人になてしまうだろうと予測しています。対照に65歳以上の高齢人口は、2005年は全体の21.7%の構成で19,084人でしたが、年々増加し、2040年には全体の37.5%の構成で24,999人になるだろうと予測しています。そこで越前市は生産年齢人口の増加を図るために、予算を作り越前市で働く体験をしてもらうモニターを募集します。

持続可能なまちづくりをするためには、まちづくりの方向性としてはネットワーク型コンパクトシティをつくっていかねばなりません。

1. 過剰投資を抑制するために拠点同士の相互補完をさせて、地域の特性を生かしたまちづくりをおこなう
2. 将来世代の負担を軽減させるため、既存のインフラを活用したまちづくりをおこなう

3. 合併特例債を有効活用しながら、中心市街地の活性化や新庁舎の建設など既存インフラの再整備、また南越駅の周辺整備や武生中央公園の再整備など今後必要な社会資本の整備をおこなう

以上3つを進めることで、越前市の魅力のアップにつながり、市民福祉の向上につなげていきたいと考えています。

今後のまちづくりに関連する計画ですが、

1. 武生中央公園再整備基本計画を平成25年に策定しました。武生中央公園は平成30年に行われます福井国体の会場となります。新体育館ではフェンシング、テニス場では硬式テニス、東運動公園ではソフトボールが行われます。平成29年のプレ大会までに新体育館を完成させる予定です。市民が憩える空間にしたいと考えています。

2. 新庁舎建設基本構想・基本計画を平成26・27年で策定し、つづいて基本設計・実施設計を行い、平成29年秋までには建設を着工させ平成31年秋に完成させたいと考えています。本庁舎は現在地で建替え、今立総合支所は地域コミュニティを担った複合施設として作り変えます。

3. 南越駅周辺整備計画を平成26・27年で策定し、計画を推進していきます。駅へのアクセス道路や周辺駐車場の計画整備をし、駅南側保守基地なども

計画されると考えています。

以上、1~3から地域防災計画につなげていきます。
4. 中心市街地活性化基本計画を平成27年に改定し、計画を推進していきます。

5. 工芸の里構造を平成25・26年に策定します。町中篠町をセントラル地区、打ち刃物の池の上工業団地をウエスト地区、和紙・織物・漆器・打ち刃物の味真野・今立をイースト地区としまちづくりを行います。

以上、1~5を相互連携し、都市マスタープランを改定してゆく予定です。

報告事項

幹事報告 井上常宏幹事

- ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会に、奨学金500万を届けた。そこから地区の方へ感謝状をいただいたとのことです。
- 武生青年会議所主催の廣中邦充さんの講演会が、2月5日武生商工会館で行われます。

委員会報告 宮前貴司親睦副委員長

- 先日の新年会におきましてすてきなジャズを披露していただいた、布上智子さんのコンサートが、2月7日北の庄クラシックスで行われます。

ニコニコ箱 …… 12,000円 累計 982,408円

- 河瀬副市長本日よろしくお願ひします。【米岡房直】
- 河瀬副市長をお迎えして— 【石川満夫】
- 河瀬副市長ようこそ。親子二代のおつきあい。新幹線駅の名前は「越前国府」 【渡辺佳男】
- 河瀬副市長頑張って下さい。本日はありがとうございます。【鎌谷忠雄】
- 河瀬副市長を迎えて。昨年4月の桜の植樹にお越しいただきましてありがとうございました。【奥村忠】
- 河瀬副市長ごくろうさまで。【田中大成】
- 同級生の河瀬副市長様、今日はよろしくお願ひします。【三村昌之】
- 越前市のまちづくりに武生ロータリークラブも参加しよう！ 【西藤浩一】

例会変更情報／福井県内ビジター受付（2月4日～2月17日）

- 2月13日 福井あじさいRC 休会 ビジター受付なし
2月17日 福井フェニックスRC ビジター受付なし
*変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日（2月3日）の例会

第一例会行事
新入会員卓話
佐々木哲夫会員

2月10日

ゲスト卓話
福井県暴力追放センター
専務理事 藤井寛之氏

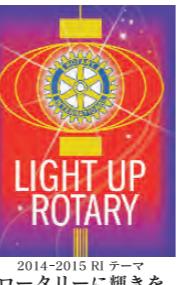
2月17日

炉辺会合報告

2月24日

ゲスト卓話
越前市立図書館
館長 土井晶子氏

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650



TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

創立/1954年（昭和29年）6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
会長/米岡房直 幹事/井上常宏 会報委員長/三田村士郎

第2944回 例会記録 平成27年1月27日(火)

本日出席会員37名

会員総数
60名

メークアップ（前々回） 4名

出席率（前々回補正） 81.82%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト 越前市 副市長 河瀬信宏氏

会長挨拶 第61代会長 米岡房直



インフルエンザが猛威を振るっていますので十分注意していただきたいと思います。本日は、河瀬越前市副市長をお迎えして、「越前市の新しいまちづくりについて」お話を頂きます。

皆様は湯船派ですか、それともシャワー派ですか。お風呂は我々日本人の日課であり、一日の疲れを癒すのに欠かせないものとなっています。海外ではシャワーのみでお風呂を済ませる国が多いため、海外のホテルに日本人の団体旅行客が泊まりに来た際、湯の供給が追いつかなくなつたという話を聞くほどです。日本人にとって、人生最初の沐浴は産湯であり、死後は湯灌によって清められます。昔から宗教的、文化的通過儀礼としても、湯を浴びることは日本人にとって重要視されてきました。

日本のお風呂で最も古いものは、瀬戸内海各地に点在していた石風呂で自然の岩窟で蒸気浴をするものでした。仏教伝来以後、東大寺などの寺院は浴堂や浴槽を持ち、鉄製の大釜で湯を沸かした蒸し風呂が登場します。鎌倉時代に建てられた東大寺の大湯屋は現存する最古のお風呂となっており、湯屋を持つ寺は東大寺など国や天皇によって建立された大寺院ばかりで、お風呂は特定の階層だけが使用できた特別の施設でした。今日のようにみんなが浴槽に湯を満たして入浴できるようになったのは江戸時代からそうです。

江戸時代の家庭風呂は関東では「鉄砲風呂」、関西では「五右衛門風呂」が主流でした。鉄砲風呂の由

來は、煙突がついた釜の形状が鉄砲に似ていることからつけられ、五右衛門の由來は、豊臣秀吉が大盗賊の石川五右衛門を釜茹での刑にしたという俗説から生まれたとされ、十返舎一九の「東海道中膝栗毛」の主人公、弥次郎兵衛と喜多八が、小田原宿の五右衛門風呂で雪隠下駄を履いたまま入浴し、底を踏み抜く話是有名です。ちなみに、五右衛門風呂ですが、現在でも唯一の生産メーカーである広島県の大和重工株式会社で生産されています。

戦後、住宅不足の中で重宝され街中に数多くあった銭湯も、今では減りつつあります。しかし、様々な趣向を凝らした健康ランドやスーパー銭湯と呼ばれる入浴施設は徐々に増加し、家族で楽しむレジャーの一つになっています。各地の温泉人気も依然として高いため、改めて日本人にとってのお風呂は欠かせないものだと感じました。お風呂に求めるものは人によって違うと思いますが、単に体を清潔にし、疲れを癒すだけの場所として止まることはなさそうです。

プログラム

「越前市の新しいまちづくりについて」

越前市 副市長 河瀬信宏氏

まず、現状と課題についてお話しします。

現状の一つ目は、まちづくりが大きく変わってきた。まちづくり三法の改正による国全体のまちづくりの方向性が、「拡大型のまちづくり」から「成熟型のまちづくり」へ転換しています。二つ目は、人口減少・高齢化の進展です。国全体の人口が減少し、高齢化が加速しています。課題としては、“コンパクトなまちづくり”と“地域特性を生かした活性化”の2つがあげられます。

次に越前市の人口についてお話をします。ピークは2005年の87,742人で、その後減少が始まり、2014年は83,837人となりました。2040年には66,651人にな



2014-2015 第2650地区テーマ
ロータリーは心くばり

